

3-2 類型別の現状

(1) 庁舎等

1) 庁舎等

① 概 要

本市には、市の行政事務を行う庁舎が4か所と出張所が1か所あります。

市役所は、市政全般にかかる政策、施策についての総合的な調整・管理事務を行うとともに、日常的に多くの市民が利用する行政サービス窓口としての中心的な機能を担っています。また、議会等の機能や、災害時における防災拠点としての機能を有しています。

本市唯一の出張所である北辰出張所では、住民票の写しの交付や印鑑登録申請などの市民課関係窓口業務のほか、市・府民税証明等の税証明窓口業務を行っています。

市役所本館は、昭和43年の建築後、昭和49年と昭和61年に増築され、平成9年には南館が建築されました。南館を含む延床面積は約3万㎡となっており、市が保有する公共施設の中でも環境衛生センター（約4万3千㎡）に次ぐ大規模施設となっています。

平成29年末現在、市役所本館の第一期棟では築49年、合同庁舎では築44年が経過しています。

表 3-2-1 庁舎等の概要

No.	施設名	所在地	複合 区分	運営 形態	延床 面積 (㎡)	主要な建物の情報（H29年末現在）			
						建築年	経過 年数	構造・ 階数	耐震性
庁舎									
1	市役所	駅前三丁目 8 番13号	単独	直営	30,208	S43	49	SRC・8	○
2	合同庁舎（共用・庁舎部分）	東中条町 2 番13号	複合	直営	1,954	S48	44	RC・7	○
3	上中条分室（共用・庁舎部分）	上中条二丁目12番28号	複合	直営	1,364	S58	34	S・3	○
4	市役所西分室	駅前三丁目 6 番18号	単独	直営	237	H6	23	LS・2	○
出張所									
1	北辰出張所	大字泉原332番地の 3	単独	直営	110	S60	32	RC・2	○



茨木市役所



北辰出張所

② 施設位置図

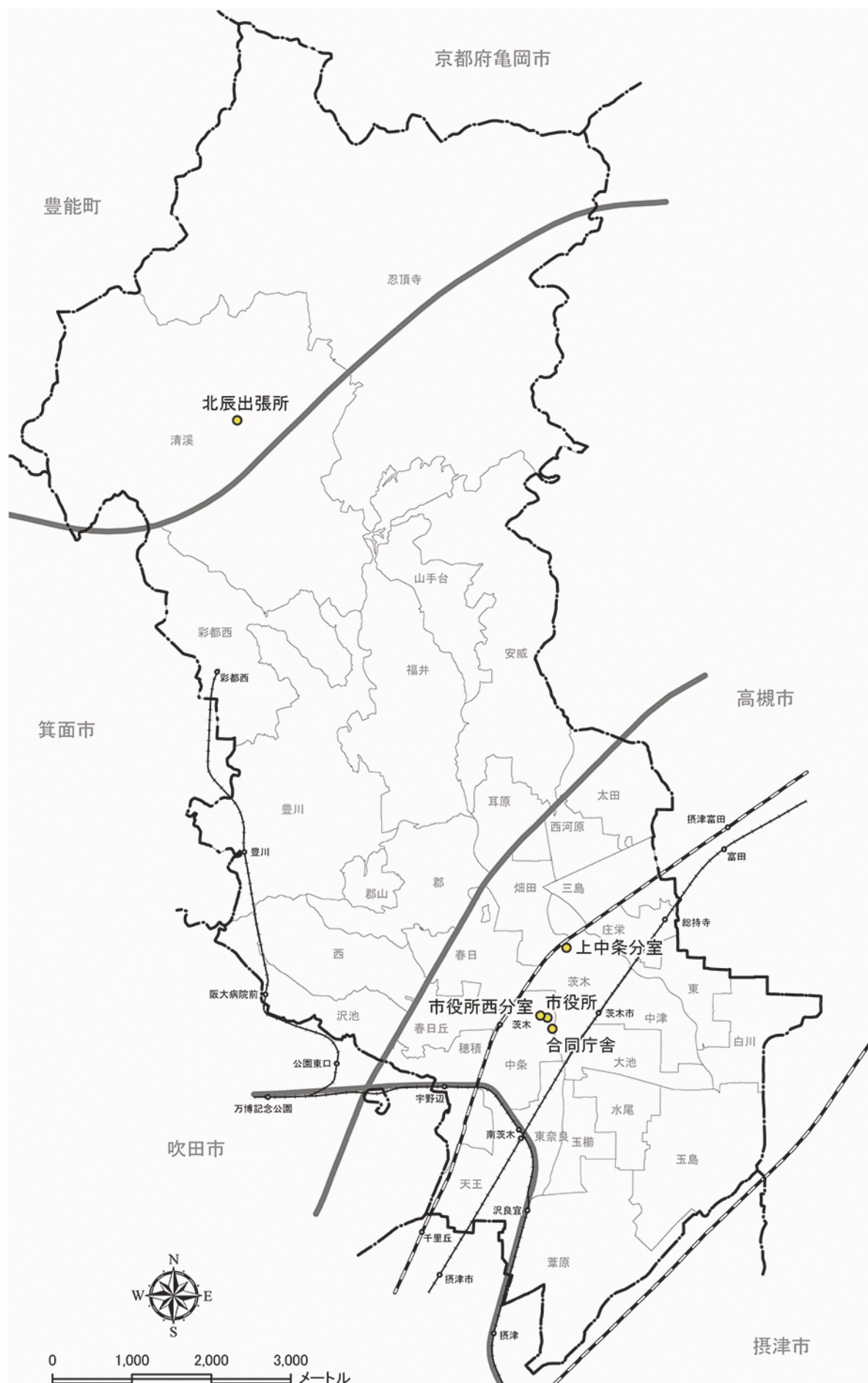


図 3-2-1 対象施設位置図（庁舎等）

③ 利用の状況

市の全職員数の推移をみると、平成 25 年度までは減少の一途をたどっていましたが、その後は、業務量の増加や多様化、複雑化する市民ニーズに対応するため微増となっており、平成 28 年度には 1,622 人となっています。

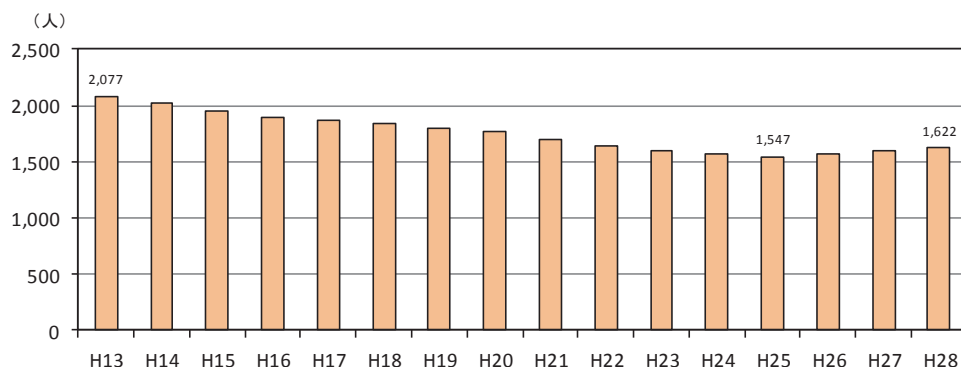


図 3-2-2 全職員数の推移（各年 4 月 1 日現在）

人口千人あたりの職員数について北摂 7 市で比較すると、本市の職員数は一般行政部門、普通会計部門、全部門の全てで、最も少なくなっています。

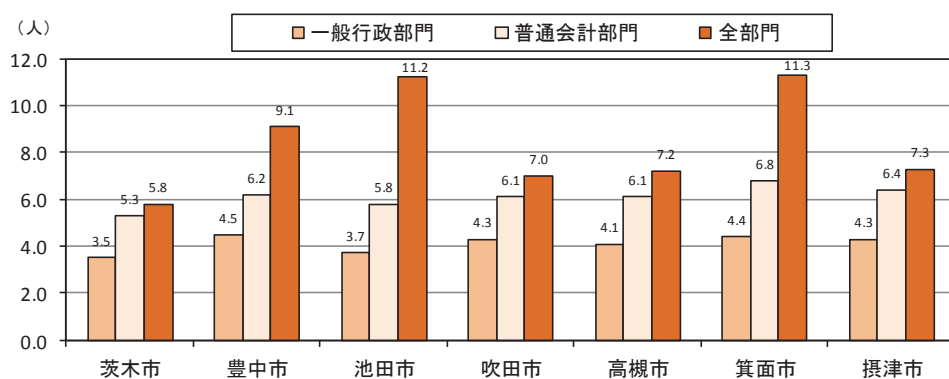


図 3-2-3 北摂 7 市の人口千人あたり職員数（H28 年 4 月 1 日現在）

住民票の写しの交付や印鑑証明などの市民課関係窓口受付件数の推移をみると、市役所では、コンビニ交付や証明書自動交付機のサービス開始等により減少傾向にあり、平成 28 年度には約 23 万件となっています。

北辰出張所においては、近年はおおむね 1,500 件～1,800 件で推移しており、平成 28 年度には 1,619 件となっています。

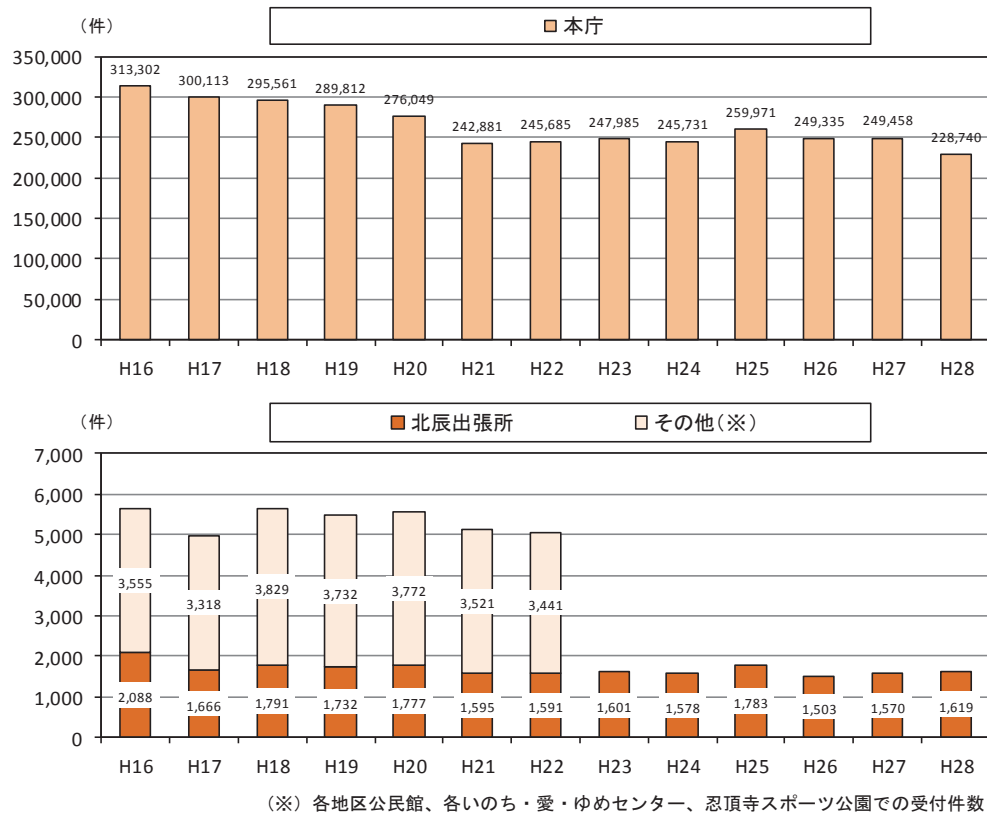


図 3-2-4 市民課関係窓口受付件数の推移

④ 施設に関する総コストの状況

平成 28 年度の施設に関する総コスト（庁舎等は事業運営にかかるコストを除く）をみると、市役所で約 4 億 3 千万円となっています。

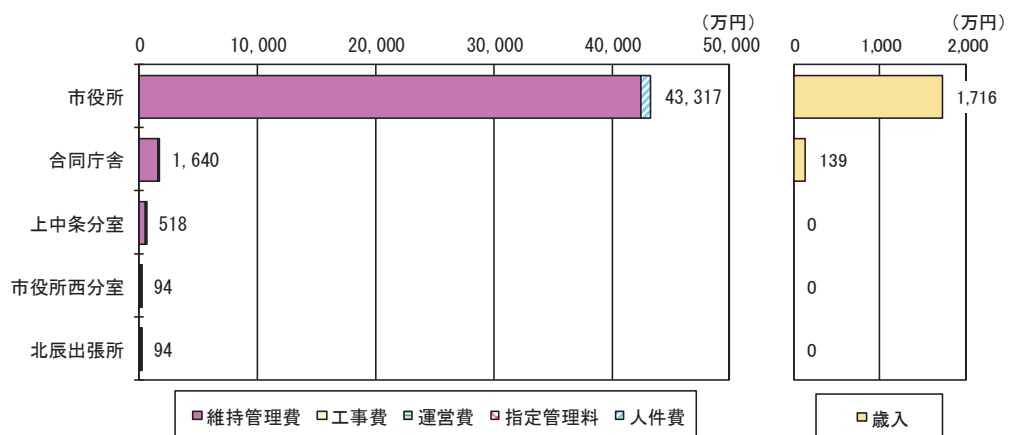


図 3-2-5 施設に関する費用と内訳 (H28 年度)

⑤ 単位あたりの市負担コストの状況

単位あたりの市負担コスト（工事費に係る歳入歳出を除く）について、延床面積 1 m²あたりで比較すると、市役所で約 1 万 4 千円と最も高く、次いで北辰出張所の約 9 千円となっています。

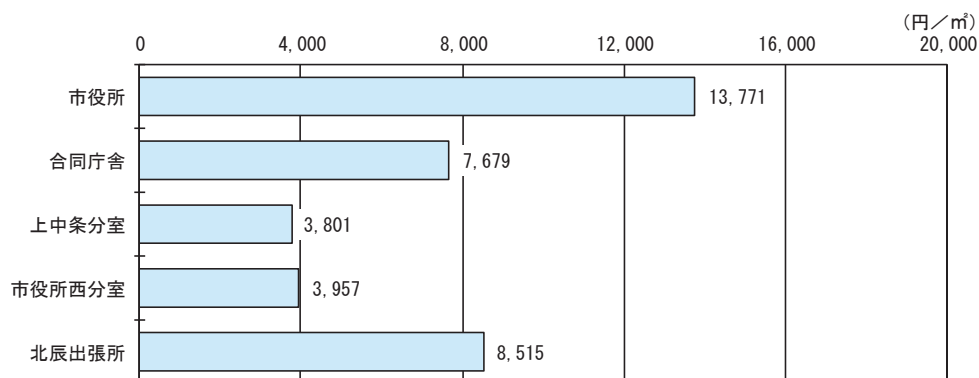


図 3-2-6 延床面積 1 m²あたりの市負担コスト（H28 年度）

⑥ 今後の課題等

- ・人口の減少やマイナンバー制度の活用、ICT技術の発達等により、今後、市役所や出張所の窓口における、証明書発行等の件数は減少していくことが予想されます。
- ・市役所は規模が大きく、保全や更新にかかる費用が多額となることから、更新時期を見据えた長期的な視点による適切な保全や積立等による更新経費の確保が求められます。
- ・市役所西分室は、築 23 年と比較的新しい施設ですが、軽量鉄骨造の簡易な構造であり、建物躯体の劣化が進行しているため、解体を計画しています。